



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) ジョン・マロッタ
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 平嶋 竜一 TEL 03-6695-9938
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有 投資家・アナリスト向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	252,368	14.4	24,063	31.1	24,907	39.3	18,633	37.4	18,513	36.0	21,642	63.2
2021年3月期第3四半期	220,633	13.7	18,353	78.5	17,876	238.4	13,562	497.1	13,612	485.1	13,260	507.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	156.67	152.82
2021年3月期第3四半期	120.02	116.67

(参考) 持分法による投資損益 2022年3月期第3四半期△203百万円 2021年3月期第3四半期△103百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	595,142	152,105	151,494	25.5
2021年3月期	569,347	107,561	107,018	18.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	331,770	8.4	27,347	55.4	27,086	18.9	20,402	21.2	20,250	19.8	169.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	123,541,682株	2021年3月期	116,950,225株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	211,941株	2021年3月期	756,406株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	118,166,307株	2021年3月期3Q	113,426,410株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) キャッシュ・フローに関する説明	7
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(セグメント情報)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当期」）における当社グループの売上収益は、252,368百万円（前年同期比14.4%増）となりました。PCR検査需要の好影響や厚生労働省が普及促進するオンライン資格確認の追い風を受けたヘルスケアソリューション、並びに、超低温フリーザーへの強い需要の継続や病院での通常診察回復の好影響を受けた診断・ライフサイエンスで、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた前年同期と比較して、大幅な増収がありました。営業利益は、増収や為替の好影響があった一方で、原材料費の上昇や物流費を含む販売関連費用の増加及び糖尿病マネジメントの事業構造改革関連費用2,883百万円の計上などがあり、24,063百万円（前年同期比31.1%増）となりました。調整後EBITDAは56,580百万円（前年同期比25.5%増）となりました。主な当該調整項目には一時的な事業構造改革関連費用（同4,065百万円）、一時的な役員報酬（同2,496百万円）、一時的な契約解除等に係る費用（同1,482百万円）、一時的な資産の処分等収益（減算1,066百万円）がありました。税引前四半期利益は24,907百万円（前年同期比39.3%増）となりました。この増加は主に、前述の営業利益の増加に加えて当社が非支配持分を有する上場会社であるSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価の影響によるものです。親会社の所有者に帰属する四半期利益は18,513百万円（前年同期比36.0%増）となりました。この増加は主に税引前四半期利益の増加によるものです。当期の実際負担税率は25.2%でした。調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益は29,494百万円（前年同期比40.9%増）となりました。当該調整項目には、上記調整後EBITDAに反映した調整項目のほか、M&A関連収益・費用（償却資産）（加算8,821百万円）、法人税見合い調整額（減算3,815百万円）、転換権付貸付金時価評価収益・費用（減算1,025百万円）がありました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	220,633	252,368	14.4%
営業利益	18,353	24,063	31.1%
EBITDA	42,644	47,434	11.2%
調整後EBITDA	45,078	56,580	25.5%
税引前四半期利益	17,876	24,907	39.3%
四半期利益	13,562	18,633	37.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,612	18,513	36.0%
調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益	20,934	29,494	40.9%
米ドル平均レート (円)	106.05	111.06	5.01円
ユーロ平均レート (円)	122.32	130.53	8.21円

(注) EBITDA、調整後EBITDA及び調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益は国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	18,353	24,063	31.1%
+ 減価償却費	22,660	23,469	3.6%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	1,630	△98	—
EBITDA	42,644	47,434	11.2%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	2,982	872	△70.8%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	2,680	4,065	51.7%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	241	△1,066	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	△4,257	1,482	—
+ 一時的な役員報酬	—	2,496	—
+ 一時的なその他の収益・費用	788	1,296	64.5%
調整後EBITDA	45,078	56,580	25.5%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

(親会社の所有者に帰属する四半期利益及び調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益の算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,612	18,513	36.0%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	2,982	872	△70.8%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	2,680	3,953	47.5%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	241	△3,099	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	△4,257	1,482	—
+ 一時的な役員報酬	—	2,496	—
+ 一時的なその他の収益・費用	788	1,296	64.5%
+ M&A関連収益・費用(償却資産)	8,155	8,821	8.2%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	1,630	—	—
+ 転換権付貸付金時価評価収益・費用	△2,745	△1,025	—
+ 法人税見合い調整額	△2,152	△3,815	—
調整後親会社の所有者に帰属する 四半期利益	20,934	29,494	40.9%

(注) 調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益を以下の算式により算出しております。

調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益

= 親会社の所有者に帰属する四半期利益 + 一時的な収益・費用 + M&A関連収益・費用(償却資産)
+ 減損損失(有価証券等除く) + 転換権付貸付金時価評価収益・費用 + 法人税見合い調整額

セグメント別の状況
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	81,123	82,257	1.4%
営業利益	21,852	18,742	△14.2%
EBITDA	33,684	28,873	△14.3%
調整後EBITDA	30,420	31,393	3.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	21,852	18,742	△14.2%
+ 減価償却費	10,202	10,123	△0.8%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	1,630	8	△99.5%
EBITDA	33,684	28,873	△14.3%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	213	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	692	2,883	316.6%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	77	△1,033	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	△4,257	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	654	—
+ 一時的なその他の収益・費用	11	16	45.5%
調整後EBITDA	30,420	31,393	3.2%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、82,257百万円(前年同期比1.4%増)となりました。血糖値測定システム(BGM)事業では、前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響により販売が軟調であったロシア・中国・インドで大幅な増収となりましたが、市場の縮小傾向に加え販売協業の終了により米国では大幅な減収となりました。ドイツでも市場が縮小する中で減収となりました。2021年4月から米国と欧州8か国にて発売を開始しました世界初の埋め込み型CGM製品Eversense(Senseonics社製)は、当第3四半期に販売が伸長しました。迅速検体検査(POCT)や電動式医薬品注入器等のOEM売上収益は、電動式医薬品注入器等の販売が堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、18,742百万円(前年同期比14.2%減)となりました。一時的な収益・費用として、当期にはBGM事業の営業体制見直しのための事業構造改革関連費用2,883百万円が、前年同期には販売協業先からの和解金収入4,257百万円がありました。

一時収益・費用の影響等を除いた調整後EBITDAは、31,393百万円(前年同期比3.2%増)となりました。主な当該調整項目には、営業利益に影響した上述の事項がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	82,338	99,632	21.0%
営業利益	2,346	12,441	430.3%
EBITDA	9,850	20,271	105.8%
調整後EBITDA	11,470	20,643	80.0%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	2,346	12,441	430.3%
+ 減価償却費	7,504	7,830	4.3%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	9,850	20,271	105.8%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	112	60	△46.4%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	1,472	149	△89.9%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	△33	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	177	—
+ 一時的なその他の収益・費用	36	20	△44.4%
調整後EBITDA	11,470	20,643	80.0%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、99,632百万円(前年同期比21.0%増)となりました。LSIM事業の売上収益は、74,778百万円(前年同期比21.0%増)、メディコム事業の売上収益は、24,853百万円(前年同期比20.8%増)となりました。LSIM事業では、当年度第2四半期に続いて一般検査の検体数は回復基調にあり、また、新型コロナウイルス感染症PCR検査の受託拡大ならびに新型コロナウイルス関連試薬の拡販により、大幅な増収となりました。メディコム事業では、10月より厚生労働省が普及促進するオンライン資格確認の本格稼働が始まったことを受けて、診療所用カルテ医事システム「Medicom-HRfシリーズ」のオンライン資格確認システムとのセットでの提案による旧機種からの切替えの促進、「PharnesVシリーズ」を主力商品とした調剤システムの大手チェーン薬局向けの販売が引き続き好調に推移し、大幅な増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は12,441百万円(前年同期比430.3%増)と大幅な増益となりました。これは主に大幅な増収の影響によるものです。調整後EBITDAは、20,643百万円(前年同期比80.0%増)となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期149百万円、前年同期1,472百万円をそれぞれ加算)がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	56,249	68,376	21.6%
営業利益	2,772	4,583	65.3%
EBITDA	7,184	9,519	32.5%
調整後EBITDA	10,385	12,203	17.5%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	2,772	4,583	65.3%
+ 減価償却費	4,412	5,042	14.3%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	△106	—
EBITDA	7,184	9,519	32.5%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	2,680	809	△69.8%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	357	968	171.2%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	164	—	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役職員報酬	—	801	—
+ 一時的なその他の収益・費用	—	107	—
調整後EBITDA	10,385	12,203	17.5%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、68,376百万円(前年同期比21.6%増)となりました。病理事業の売上収益は、29,208百万円(前年同期比11.1%増)、バイオメディカ事業の売上収益は、39,168百万円(前年同期比30.8%増)となりました。病理事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により手控えられていた病院での通常の診察が回復に向かいました。米州・欧州地域はサプライチェーンに起因して一部出荷に影響が出ていますが、前年同期比増収となりました。バイオメディカ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた研究活動が特に米州地域において回復し、加えてmRNAワクチン保存用の超低温フリーザーの需要が欧州地域において継続したことにより大幅な増収となりました。東南アジア太平洋地域において、2020年7月にシンガポールの販売会社SciMedを連結子会社化したことによる他メーカーの仕入販売商品の追加、および各国のワクチン保存需要の確実な獲得による増収がありました。また、調剤支援機器・その他の事業も、日本と米州地域の市場回復により増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、4,583百万円(前年同期比65.3%増)の大幅な損益改善となりました。大幅な増収の影響が、原材料費、物流費、および販売活動の活性化に伴う一般販売管理費の増加を大幅に上回りました。調整後EBITDAは、12,203百万円(前年同期比17.5%増)となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期968百万円、前年同期357百万円をそれぞれを加算)及び一時的な役職員報酬(当期801百万円を加算)がありました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて25,795百万円増加し、595,142百万円となりました。主に新株の発行により現金及び現金同等物が27,226百万円増加し、需要増加に備えるため等により棚卸資産が5,534百万円増加した一方、前連結会計年度と同様に、主に過去の買収により発生した無形資産の償却が進み無形資産が9,479百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて18,749百万円減少し、443,037百万円となりました。この主な要因は、2021年6月末に実行した長期借入金の借換等により借入金が14,182百万円減少したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて44,544百万円増加し、152,105百万円となりました。この主な要因は、四半期利益等により利益剰余金が18,914百万円増加したこと、主に新規公開株式の新株の発行により資本剰余金が11,444百万円、資本金が10,465百万円増加したこと等によるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の18.8%から6.7ポイント増加して25.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、27,226百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には87,988百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、36,027百万円（前年同期比7,250百万円増）となりました。税引前四半期利益の増加は7,030百万円であり、これは新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な影響から業績が回復したものであります。またその他の主な増減要因は、営業債権の減少が3,982百万円となったことや法人所得税の支払額が前年同期比3,313百万円増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9,427百万円であり、前年同期は11,954百万円でした。経常的な設備投資を主とした固定資産の取得による支出が前年同期比166百万円減の8,677百万円となりました。またその他の主な増減要因は、投資の売却及び償還による収入が2,003百万円となったことや、貸付けによる支出が前年同期比3,140百万円減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、106百万円のプラスであり、前年同期は17,962百万円のマイナスでした。この主な要因は、上場等に伴う株式の発行による収入が20,826百万円となったことや、長期借入金の返済・借換収入純額が前年同期13,631百万円のマイナスから15,412百万円のマイナスに増加したためであります。長期借入金の借換による収入および長期借入金の返済による支出の総額は、それぞれ311,348百万円、326,760百万円であり、これらはより良い条件を目的とした借換（リファイナンス）によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想については、以下の通り修正しました。

当期の連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	調整後 EBITDA (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に帰属 する当期利益 (百万円)	基本的1株 当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	331,770	27,347	71,994	31,786	24,002	23,850	200.05
今回修正予想 (B)	331,770	27,347	71,994	27,086	20,402	20,250	169.86
増減額 (B-A)	0	0	0	△4,700	△3,600	△3,600	△30.19
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	△14.8%	△15.0%	△15.1%	△15.1%
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	306,071	17,599	64,053	22,788	16,829	16,906	149.07

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失 (有価証券等を除く)

* 調整後EBITDAは、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

世界各国では急激に感染が拡大しているオミクロン株への警戒が続くもののワクチン接種により社会経済活動を維持しようとする動きもあり、通常の通院や一般検査需要の回復基調にも変化はないと見込んでいます。また、超低温フリーザーやPCR検査の需要見直しには不透明な部分があり、コンテナの確保など出荷物流への影響が懸念されることなどから、売上収益、営業利益、調整後EBITDAについては通期の予想は変更しておりません。

税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益及び基本的1株当たり当期利益については、Senseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値の引き下げを受けて、下方修正しました。この公正価値評価は2021年12月31日現在のものです。この時点での同社の株価は2.67米ドルでした。

なお、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル=110円、1ユーロ=130円です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,762	87,988
営業債権	63,470	60,045
棚卸資産	38,829	44,364
その他の金融資産	3,208	3,449
その他の流動資産	5,165	6,452
小計	171,435	202,299
売却目的で保有する資産	930	—
流動資産合計	172,366	202,299
非流動資産		
有形固定資産	50,978	48,401
のれん	205,162	208,451
無形資産	109,048	99,569
持分法で会計処理されている投資	2,085	3,468
その他の金融資産	25,246	26,532
繰延税金資産	3,745	5,655
その他の非流動資産	713	765
非流動資産合計	396,980	392,843
資産合計	569,347	595,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	69,268	63,998
借入金	321,486	26,756
未払法人所得税等	3,963	5,072
引当金	5,549	6,272
その他の金融負債	5,371	5,187
その他の流動負債	20,026	19,015
小計	425,665	126,304
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	230	—
流動負債合計	425,896	126,304
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,532	2,422
借入金	67	280,614
退職給付に係る負債	10,281	9,947
引当金	3,045	2,950
その他の金融負債	12,066	10,524
繰延税金負債	6,957	8,801
その他の非流動負債	1,937	1,471
非流動負債合計	35,889	316,732
負債合計	461,786	443,037
資本		
資本金	36,409	46,874
資本剰余金	31,035	42,480
利益剰余金	35,158	54,072
自己株式	△1,624	△568
その他の資本の構成要素	6,040	8,636
親会社の所有者に帰属する持分合計	107,018	151,494
非支配持分	542	611
資本合計	107,561	152,105
負債及び資本合計	569,347	595,142

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	220,633	252,368
売上原価	114,562	127,520
売上総利益	106,071	124,848
販売費及び一般管理費	92,571	103,013
その他の収益	5,470	2,621
その他の費用	513	189
持分法による投資損益 (△は損失)	△103	△203
営業利益	18,353	24,063
金融収益	2,974	3,075
金融費用	3,451	2,231
税引前四半期利益	17,876	24,907
法人所得税費用	4,313	6,273
四半期利益	13,562	18,633
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,612	18,513
非支配持分	△50	120
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	120.02	156.67
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	116.67	152.82

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	13,562	18,633
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△924	388
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	26	2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△91	24
在外営業活動体の換算差額	622	2,403
持分法によるその他の包括利益	63	190
税引後その他の包括利益	△302	3,009
四半期包括利益	13,260	21,642
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,304	21,497
非支配持分	△44	145
四半期包括利益	13,260	21,642

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2020年4月1日時点の残高	31,366	25,297	16,578	△1,275	—	715	8
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	13,612	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△924	26	△91
四半期包括利益合計	—	—	13,612	—	△924	26	△91
新株の発行	42	42	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△405	—	—	—
自己株式の処分	—	△72	—	96	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△56	45	—	—	—	—
株式報酬取引	—	76	—	—	—	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△479	—	860	△381	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	42	△10	△433	△308	860	△381	—
2020年12月31日時点の残高	31,409	25,287	29,757	△1,584	△63	361	△82

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2020年4月1日時点の残高	△2,385	△29	△1,691	70,275	20	70,296
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	13,612	△50	13,562
その他の包括利益	617	63	△308	△308	5	△302
四半期包括利益合計	617	63	△308	13,304	△44	13,260
新株の発行	—	—	—	85	—	85
自己株式の取得	—	—	—	△405	—	△405
自己株式の処分	—	—	—	23	—	23
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△10	—	△10
株式報酬取引	—	—	—	76	—	76
子会社の取得	—	—	—	—	424	424
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	479	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	3	3
所有者との取引額合計	—	—	479	△231	428	197
2020年12月31日時点の残高	△1,768	33	△1,520	83,349	403	83,753

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2021年4月1日時点の残高	36,409	31,035	35,158	△1,624	—	400	△32
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	18,513	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	388	2	24
四半期包括利益合計	—	—	18,513	—	388	2	24
新株の発行	10,465	10,361	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	—	—
自己株式の処分	—	△128	—	164	—	—	—
自己株式の消却	—	△1,250	—	1,250	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△15	13	—	—	—	—
株式報酬取引	—	2,477	—	—	—	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	388	—	△388	—	—
その他の増減	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	10,465	11,444	401	1,055	△388	—	—
2021年12月31日時点の残高	46,874	42,480	54,072	△568	—	403	△7

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ 他の包括利 益に対する持 分	合計			
2021年4月1日時点の残高	5,680	△8	6,040	107,018	542	107,561
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	18,513	120	18,633
その他の包括利益	2,378	190	2,984	2,984	25	3,009
四半期包括利益合計	2,378	190	2,984	21,497	145	21,642
新株の発行	—	—	—	20,826	—	20,826
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	△359
自己株式の処分	—	—	—	36	—	36
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△75	△75
新株予約権の失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	2,477	—	2,477
子会社の取得	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△388	—	—	—
その他の増減	—	—	—	△0	△0	△0
所有者との取引額合計	—	—	△388	22,978	△76	22,901
2021年12月31日時点の残高	8,058	181	8,636	151,494	611	152,105

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	17,876	24,907
減価償却費	22,660	23,469
減損損失(又は戻入れ)	1,630	△98
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△2,745	△3,020
持分法による投資損益(△は益)	103	203
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	185	69
支払利息	1,919	2,012
固定資産売却損益(△は益)	△191	△26
営業債権の増減額(△は増加)	△1,327	3,982
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,443	△5,030
営業債務の増減額(△は減少)	△234	△2,476
その他	△2,747	283
小計	34,685	44,276
利息及び配当金の受取額	255	516
利息の支払額	△3,169	△2,354
法人所得税の支払額	△3,111	△6,424
法人所得税の還付額	116	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,777	36,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△8,844	△8,677
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	543	145
投資の取得による支出	—	△754
投資の売却及び償還による収入	—	2,003
事業譲受による支出	—	△330
事業譲渡による収入	—	700
事業の取得対価の精算による収入	917	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△1,136	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	—	△1,449
貸付けによる支出	△3,742	△601
その他	308	△464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,954	△9,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△43	△871
長期借入による収入	—	311,348
長期借入金の返済による支出	△13,631	△326,760
リース負債の返済による支出	△4,012	△4,051
株式の発行による収入	85	20,826
自己株式の取得による支出	△405	△359
自己株式の売却による収入	23	36
その他	22	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,962	106

現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,956	519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,816	27,226
現金及び現金同等物の期首残高	45,379	60,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>47,196</u>	<u>87,988</u>

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖自己測定システム及びPOCT (Point of Care Testing) 製品等の体外診断機器並びに電気式医薬品注入器 (インジェクタ) の開発、製造及び販売
ヘルスケアソリューション	レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売や臨床検査事業の展開
診断・ライフサイエンス	研究・医療支援機器、病理診断機器の開発製造販売

(2) セグメント収益及び業績

セグメントの利益は従来セグメント利益と表示し、営業利益の数値を表示しておりましたが、より分かりやすい表示をすることを目的に営業利益との表示に変更し、従来同様営業利益の数値を表示するよう変更を行っております。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	81,123	82,338	56,249	219,711	921	220,633
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	81,123	82,338	56,249	219,711	921	220,633
営業利益（△は損失）	21,852	2,346	2,772	26,972	△8,618	18,353
金融収益						2,974
金融費用						△3,451
税引前四半期利益						17,876
その他項目						
減価償却費及び償却費	10,202	7,504	4,412	22,118	541	22,660
減損損失（△は戻入れ）	1,630	—	—	1,630	—	1,630

(注) 1. 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	82,257	99,632	68,376	250,266	2,101	252,368
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	82,257	99,632	68,376	250,266	2,101	252,368
営業利益（△は損失）	18,742	12,441	4,583	35,768	△11,704	24,063
金融収益						3,075
金融費用						△2,231
税引前四半期利益						24,907
その他項目						
減価償却費及び償却費	10,123	7,830	5,042	22,997	472	23,469
減損損失（△は戻入れ）	8	—	△106	△98	—	△98

- (注) 1. 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。